

HP DECwindows Motif for OpenVMS Industry Standard 64 for Integrity Servers

インストール/リリース・ノート

2004年3月

このドキュメントでは、DECwindows Motif Version T1.4-1 ソフトウェアについて概要を説明します。DECwindows Motif の本リリースでサポートされる機能、変更内容、既知の問題、および制限事項について説明します。

オペレーティング・システム: HP OpenVMS Industry Standard 64 for
Integrity Servers Evaluation Release Version
8.1

ソフトウェア・バージョン: HP DECwindows Motif for
OpenVMS Industry Standard 64 for Integrity
Servers Version T1.4-1

Hewlett-Packard Company

PROPRIETARY INFORMATION

Furnished for Internal Testing Purposes Only

The information contained herein is furnished in
confidence and is subject to the terms and conditions
of a License Agreement for testing HP software.

© Copyright 2003 Hewlett-Packard Development Company, L.P.

UNIX and the "X" device are registered trademarks of The Open Group.

The information contained herein is subject to change without notice. The only warranties for HP products and services are set forth in the express warranty statements accompanying such products and services. Nothing herein should be construed as constituting an additional warranty. HP shall not be liable for technical or editorial errors or omissions contained herein.

Proprietary computer software. Valid license from HP required for possession, use or copying. Consistent with FAR 12.211 and 12.212, Commercial Computer Software, Computer Software Documentation, and Technical Data for Commercial Items are licensed to the U.S. Government under vendor's standard commercial license.

目次

まえがき	v
1 本リリースの概要	
1.1 本リリースの内容	1-1
2 インストールおよび使用上の注意事項	
2.1 ソフトウェアのインストールと構成	2-1
2.1.1 License PAK は不要	2-1
2.1.2 GH_RES_CODE の値の増大	2-1
2.1.3 アプリケーションのリモート表示	2-2
2.1.4 DECwindows Motif デスクトップのリモート表示	2-2
2.2 既知の問題点と制限事項	2-3
2.2.1 OSF/Motif Release 1.1.3 イメージをベースとしたアプリケーションのビルド	2-3
2.2.2 TBK\$SHOW_TRACEBACK 情報メッセージ	2-4
2.2.3 CDA Viewer の制限事項	2-4
2.2.4 DEClinks 共有イメージは提供されない	2-5
2.3 日本語機能に関する注意事項	2-5
2.3.1 国際化キットおよび日本語キットのインストール	2-5
2.3.2 日本語 DECwindows Motif でサポートされないコンポーネント	2-5
2.4 HP DECwindows Motif for OpenVMS に関するその他の注意事項	2-6
2.4.1 サポートされるキーボード	2-6
2.4.2 DECwindows Motif T1.4-1 のデフォルトは従来型の DECwindows デスクトップ	2-7
2.4.3 New Desktop の Password フィールドではバックスペースおよび Ctrl/U 編集機能を使用できない	2-7
2.4.4 グラフィックス・カードのサポート	2-8
2.4.5 Radeon 7000 ではハードウェア・アクセラレーションがサポートされない	2-8
2.4.6 DECwindows サーバの再起動に関する問題	2-8
2.4.7 DECwindows の起動時に表示されるマウスまたはキーボードに関するメッセージ	2-8

まえがき

このドキュメントでは、DECwindows Motif Version T1.4-1 でサポートされる機能、機能の変更、既知の問題、および制限事項について説明します。HP OpenVMS Industry Standard 64 for Integrity Servers (OpenVMS I64) 環境における DECwindows Motif のインストールおよび構成についての追加情報も提供します。

対象読者

本書は、OpenVMS I64 環境で DECwindows Motif ソフトウェアおよび製品インタフェースを評価する OpenVMS の開発コミュニティあるいは技術顧客コミュニティを支援するための情報を提供します。

本書の構成

本書の構成は以下のとおりです。

- 第 1 章では、キットの内容およびサポートされる機能の概要を説明します。
- 第 2 章では、本評価版における機能の変更、修正、既知の問題、および制限事項について説明します。この章には、DECwindows Motif ソフトウェアあるいはそのコンポーネントのインストールあるいは構成に必要な追加情報も含まれていません。

関連資料

現在のバージョンの OpenVMS I64 オペレーティング・システムについての情報は、『HP OpenVMS Industry Standard 64 for Integrity Servers Evaluation Release Version 8.1 New Features and Release Notes』を参照してください。このドキュメントの第 1 章および第 2 章は、『日本語 HP OpenVMS Industry Standard 64 for Integrity Servers Evaluation Release Version 8.1 リリース・ノート』として日本語に翻訳されています。

OpenVMS の製品およびサービスについての詳細は、以下の Web サイトを参照してください。

<http://www.hp.com/go/openvms>

<http://www.hp.com/jp/openvms>

本書の表記法

本書で使用する DECwindows および DECwindows Motif の表記は、すべて HP DECwindows Motif for OpenVMS Industry Standard 64 for Integrity Servers ソフトウェアを意味します。また、X サーバおよび X ディスプレイ・サーバは、DECwindows X11 Display Server を意味します。

本書の表記法は以下のとおりです。

表記法	意味
Ctrl/x	Ctrl/x という表記は、Ctrl キーを押しながら別のキーまたはポインティング・デバイス・ボタンを押すことを示します。
Return	例の中で、キー名が四角で囲まれている場合には、キーボード上でそのキーを押すことを示します。テキストの中では、キー名は四角で囲まれていません。 HTML 形式のドキュメントでは、キー名は四角ではなく、括弧で囲まれています。
...	例の中の水平方向の反復記号は、次のいずれかを示します。 <ul style="list-style-type: none">• 文中のオプションの引数が省略されている。• 前出の 1 つまたは複数の項目を繰り返すことができる。• パラメータや値などの情報をさらに入力できる。
.	垂直方向の反復記号は、コードの例やコマンド形式の中の項目が省略されていることを示します。このように項目が省略されるのは、その項目が説明している内容にとって重要ではないからです。
()	コマンドの形式の説明において、括弧は、複数のオプションを選択した場合に、選択したオプションを括弧で囲まなければならないことを示しています。
[]	コマンドの形式の説明において、大括弧で囲まれた要素は任意のオプションです。オプションをすべて選択しても、いずれか 1 つを選択しても、あるいは 1 つも選択しなくても構いません。ただし、OpenVMS ファイル指定のディレクトリ名の構文や、割り当て文の部分文字列指定の構文の中では、大括弧に囲まれた要素は省略できません。
[]	コマンド形式の説明では、括弧内の要素を分けている垂直棒線はオプションを 1 つまたは複数選択するか、または何も選択しないことを意味します。
{ }	コマンドの形式の説明において、中括弧で囲まれた要素は必須オプションです。いずれか 1 つのオプションを指定しなければなりません。
太字	太字のテキストは、新しい用語、引数、属性、条件を示しています。
<i>italic text</i>	イタリック体のテキストは、重要な情報を示します。また、システム・メッセージ (たとえば内部エラー <i>number</i>)、コマンド・ライン (たとえば <i>PRODUCER=name</i>)、コマンド・パラメータ (たとえば <i>device-name</i>) などの変数を示す場合にも使用されます。
UPPERCASE TEXT	英大文字のテキストは、コマンド、ルーチン名、ファイル名、ファイル保護コード名、システム特権の短縮形を示します。

表記法	意味
Monospace type	<p>モノスペース・タイプの文字は、コード例および会話型の画面表示を示します。</p> <p>C プログラミング言語では、テキスト中のモノスペース・タイプの文字は、キーワード、別々にコンパイルされた外部関数およびファイルの名前、構文の要約、または例に示される変数または識別子への参照などを示します。</p>
-	<p>コマンド形式の記述の最後、コマンド・ライン、コード・ラインにおいて、ハイフンは、要求に対する引数とその後の行に続くことを示します。</p>
数字	<p>特に明記しない限り、本文中の数字はすべて 10 進数です。10 進数以外 (2 進数, 8 進数, 16 進数) は、その旨を明記してあります。</p>

本リリースの概要

DECwindows Motif Version T1.4-1 は、OpenVMS I64 環境の評価用ソフトウェアの更新バージョンです。DECwindows Motif の製品版のリリースに先立って、OpenVMS I64 Evaluation Release Version 8.1 の一部として提供されます。

1.1 本リリースの内容

DECwindows Motif Version T1.4-1 では、ユーザおよびアプリケーション開発者を対象に、DECwindows Motif の基本機能をテストするのに必要なクライアント・ライブラリおよびデスクトップ環境が提供されます。また、開発者が DECwindows Motif インタフェースや関数参照を含む OpenVMS アプリケーションをテストするのに必要なコンポーネントも提供されます。

DECwindows Motif Version T1.4-1 には以下のコンポーネントが含まれています。

- DECwindows Motif クライアント・ライブラリ (SYSS\$LIBRARY に提供されている)
- 従来型の DECwindows デスクトップ環境および関連アプリケーション
- New Desktop 環境および関連アプリケーション

インストールおよび使用上の注意事項

2.1 ソフトウェアのインストールと構成

DECwindows Motif Version T1.4-1 ソフトウェアは、POLYCENTER Software Installation ユーティリティを使用してインストールします。OpenVMS I64 環境でこのソフトウェアをインストールする一般的な手順は、OpenVMS Alpha 環境でのインストール手順とほぼ同じです。

ここでは、DECwindows Motif ソフトウェアのインストールと構成に必要な追加作業について説明します。

一般的なインストール手順については、最新版の『HP DECwindows Motif for OpenVMS Alpha インストレーション・ガイド』を参照してください。

2.1.1 License PAK は不要

T1.4-1/V8.1

OpenVMS I64 Evaluation Release Version 8.1 では、DECwindows Motif などのレイヤード製品に対して個別のライセンスは必要ありません。DECwindows Motif ソフトウェアをインストールするときやアクセスするときに、License PAK 情報を指定する必要はありません。

2.1.2 GH_RES_CODE の値の増大

T1.4-1/V8.1

GH_RES_CODE システム・パラメータの値が 4096 以上になるように設定することをお勧めします。このようにすると、以下のようなメッセージがスタートアップ時に表示されるのを防止できます。

```
$ @DECW$STARTUP
```

インストールおよび使用上の注意事項

2.1 ソフトウェアのインストールと構成

```
%INSTALL-I-NONRES, image installed ignoring '/RESIDENT' DISK$IA64XA0W:
<SYS0.SYSCOMMON.SYSLIB>DECW$XLIBSHR.EXE
-INSTALL-E-NOGHREG, insufficient memory in the code or data granularity hint region
%INSTALL-I-NONRES, image installed ignoring '/RESIDENT' DISK$IA64XA0W:
<SYS0.SYSCOMMON.SYSLIB>DECW$XMLIBSHR12.EXE
-INSTALL-E-NOGHREG, insufficient memory in the code or data granularity hint region
%INSTALL-I-NONRES, image installed ignoring '/RESIDENT' DISK$IA64XA0W:
<SYS0.SYSCOMMON.SYSLIB>DECW$DXMLIBSHR12.EXE
-INSTALL-E-NOGHREG, insufficient memory in the code or data granularity hint region
```

GH_RES_CODE は動的な SYSGEN パラメータではないので、更新した値を適用するには、システムをリブートする必要があります。

2.1.3 アプリケーションのリモート表示

T1.4-1/V8.1

アプリケーションをネットワーク上の他の X サーバ・システムに表示するには、SET DISPLAY コマンドを使用します。

たとえば、DECwindows Mail アプリケーションを、DECnet トランスポートを介して他のシステムに表示されるには、以下のコマンドを入力します。*sys_name* は、ノード名または N.NNN という形式の有効な DECnet アドレスです。

```
$ SET DISPLAY/CREATE/NODE=sys_name/TRANSPORT=DECNET
$ RUN SYS$SYSTEM:DECW$MAIL
```

DECterm ウィンドウの表示を、TCP/IP トランスポート経由で他のシステムに出力するには、以下のコマンドを入力します。*sys_addr* は、nn.nn.nn.nn という形式の有効な IP アドレスです。

```
$ SET DISPLAY/CREATE/NODE=sys_addr/TRANSPORT=TCPIP
$ CREATE/TERM/DETACH
```

2.1.4 DECwindows Motif デスクトップのリモート表示

T1.4-1/V8.1

デスクトップ全体の表示をネットワーク上の他の X サーバ・システムに出力するには、EXEC モードで SET DISPLAY コマンドを使用します。この場合、リモート・システムの X サーバがアクティブであることと、リモート・ウィンドウ・マネージャが有効であることを確認してください。

たとえば、eXcursion を使用するリモート PC に DECwindows Motif デスクトップを表示する場合は、以下の操作を行います。

1. eXcursion Server を起動します。

2. eXcursion のコントロール・パネルを開き、[XWindow]タブをクリックします。[Allow Foreign Window Managers]オプションが選択されていることを確認してください。
3. eXcursion 以外のエミュレータ (Multia , PowerTerm , または telnet) を使用して端末ウィンドウを開き、DECwindows Motif Version T1.4-1 システムに接続します。
4. 特権アカウントにログインします。
5. 以下のコマンドを入力します。 *sys_addr*は、リモート X サーバ・システムの有効な IP アドレス (nn.nn.nn.nn の形式) です。

```
$ SET PROCESS/PRIVILEGE=CMEEXEC
$ SET DISPLAY/CREATE/TRANSPORT=TCPIP/EXEC/NODE=sys_addr
$ DEFINE/JOB DECW$LOGIN_DISPLAY 'F$TRNLNM("DECW$DISPLAY")'
$ MCR DECW$STARTLOGIN
$ LOGOUT
```

DECwindows Motif デスクトップの[Login]ダイアログ・ボックスがリモート X サーバ・システムに表示されます。

PC で DECwindows Motif セッションを終了するには、以下の操作を行います。

1. セッション・マネージャを介して現在のデスクトップ・セッションを終了します。
2. ウィンドウの上部にある[Close]ボタンをクリックして、[Login]ダイアログ・ボックスを閉じます。
3. eXcursion Server を再起動します。

2.2 既知の問題点と制限事項

ここでは、DECwindows Motif Version T1.4-1 ソフトウェアに関して報告されている問題点と制限事項について説明します。

2.2.1 OSF/Motif Release 1.1.3 イメージをベースとしたアプリケーションのビルド

T1.4-1/V8.1

DECwindows Motif Version T1.4-1 には、更新された OSF/Motif Release 1.1.3 共有ライブラリが含まれています。しかし、Release 1.1.3 ベースの UIL コンパイラや、関連 C ヘッダ・ファイルは含まれていません (DECwindows Motif for OpenVMS Alpha の最近のリリースと同様)。

OpenVMS I64 環境で、Release 1.1.3 イメージをベースにしたアプリケーションのネイティブ・ビルドを行うには、以下の手順に従ってください。

1. OpenVMS Alpha 上で以前使用した、保存されているバージョンの OSF/Motif Release 1.1.3 環境の C ヘッド・ファイル (.H) を使用して、アプリケーション・ソース・ファイルをコンパイルします。
2. 移植した共有イメージに対してリンクします。移植したイメージの名前には、"R5"や"12"などのサフィックスは含まれていませんので注意してください。たとえば、Release 1.1.3 ベースのビルドの場合は、DECW\$XTLIBSHRR5 および DECW\$XMLIBSHR12 ではなく、DECW\$XTSHR および DECW\$XMLIBSHR に対してリンクする必要があります。
3. 以下の操作を行います。
 - UIL を変更する必要がない場合は、OpenVMS Alpha システムから OpenVMS I64 ランタイム環境にコピーした UID ファイルを使用して、アプリケーションを実行します。
 - 変更が必要な場合は、以前使用した、保存されているバージョンの OSF/Motif Release 1.1.3 プログラミング環境の UIL コンパイラを OpenVMS Alpha 上で使用し、作成された UID ファイルを OpenVMS I64 ランタイム環境にコピーします。

2.2.2 TBK\$SHOW_TRACEBACK 情報メッセージ

T1.4-1/V8.1

以下の情報メッセージは、OpenVMS I64 環境にまだ移植されていない関数呼び出しに関連する例外処理パスが入力されたことを示します。

```
TBK$SHOW_TRACEBACK is not ready for I64...
```

この例外処理パスの出力は、OpenVMS Alpha 環境に現在あるパスと異なります。DECwindows Motif の将来のリリースでは、例外処理の結果が OpenVMS Alpha の結果により近づくように変更される予定です。

このメッセージが出力された場合は、詳細について HP の担当者にお問い合わせください。

2.2.3 CDA Viewer の制限事項

T1.4-1/V8.0-1

現在、CDA Viewer を使用して以下の DDIF イメージを表示することはできません。

- モノクロ・イメージ
- 大きなカラー・イメージ
- DECW\$EXAMPLES:CLOCK.DDIF サンプル・イメージ

これらの制限事項は、DECwindows Motif の将来のリリースで修正される予定です。

2.2.4 DEClinks 共有イメージは提供されない

E1.4/V8.0

DEClinks 共有ライブラリ (LWK\$DXMSHR*.EXE) は OpenVMS I64 環境には移植されておらず、DECwindows Motif for OpenVMS Industry Standard 64 for Integrity Servers Version E1.4 以降のバージョンで提供されません。

これらの共有ライブラリは、他のアプリケーションでの機能の回帰 (リグレッション) を回避するために、OpenVMS Alpha 環境には残されていました。OpenVMS I64 環境でこれらのライブラリの機能が必要だと判断された場合は、将来の評価版リリースで提供される可能性があります。

2.3 日本語機能に関する注意事項

ここでは日本語 DECwindows Motif に関する注意事項について説明します。

2.3.1 国際化キットおよび日本語キットのインストール

DECwindows Motif の日本語機能を利用するためには、DECwindows Motif の標準版キットがインストールされた日本語 OpenVMS I64 V8.1 システムに対して、OpenVMS Alpha の場合と同様に次の順番で DECwindows Motif の国際化キットおよび日本語キットをインストールしてください。

1. 国際化版 DECwindows Motif T1.4-1
(キット名: HP-I64VMS-DWMOTIF_I18N-T0104-1-1.PCSI\$COMPRESSED)
2. 日本語 DECwindows Motif T1.4-1
(キット名: HP-I64VMS-JDECW-T0104-1-1.PCSI\$COMPRESSED)

2.3.2 日本語 DECwindows Motif でサポートされないコンポーネント

日本語 DECwindows Motif Evaluation Release T1.4-1 では基本的に日本語 DECwindows Motif for OpenVMS Alpha と同等の機能を提供しますが、以下のコンポーネントについては本バージョンでは提供、サポートされません。

- フォントコンバータ
- 国際化ブックリーダー (DECW\$MBOOKREADER)
- パズル
- 変換イメージ・サポート

- XIMP IM プロトコルサポート

2.4 HP DECwindows Motif for OpenVMS に関するその他の注意事項

ここでは、OpenVMS I64 Evaluation Release Version 8.1 の『New Features and Release Notes』に記載されている注意事項のうち HP DECwindows Motif for OpenVMS T1.4-1 に関するものを抜粋して記載しています。

DECwindows Motif T1.4-1 は、OpenVMS I64 Evaluation Release Version 8.1 で提供されている PCSI ユーティリティを使用してインストールします。

標準版 DECwindows のリリース・ノートは
SYSS\$COMMON:[SYSHLP]DECW\$MOTIFT014.RELEASE_NOTES にあります。

2.4.1 サポートされるキーボード

OpenVMS I64 システムの標準版 DECwindows でサポートされるキーボードは LK463 です。他のキーボードも動作しますが、正式にはサポートされていません。

また、OpenVMS I64 システムの日本語版 DECwindows でサポートされるキーボードはシステムに付属の日本語 USB キーボードです。このキーボードを使用するために、スタイル・マネージャの「キーボード」(New Desktop の場合)あるいはセッション・マネージャの「オプション」メニューから選択する「キーボード」オプション(従来型のデスクトップ環境の場合)で、キーボードタイプとして "JAPANESE_LKQ50AJ" を選択してください。

このキーボードでカナモードに切り替えるには左側の GUI キー (Windows キー) を押してください。カナモードの時はキーボードの一番左の LED が光ります。

キー配列については日本語 LK キーボードに準拠します。以下の対応表をご参照ください。

機能	対応するキー
Help	Print Screen
Do	Scroll Lock, Pause
Find	Insert
Insert	Home
Remove	Page Up
Select	Delete
Prev	End
Next	Page Down

機能	対応するキー
PF1	Num Lock
PF2	テンキーの "/"
PF3	テンキーの "*"
PF4	テンキーの "-"

その他，日本語入力機能で用いるキーについては，日本語 OpenVMS Alpha V7.3-2 のドキュメント・ライブラリに含まれている『日本語 hp DECwindows Motif for hp OpenVMS 日本語機能説明書』の第 6 章の日本語入力機能の項を参照してください。

2.4.2 DECwindows Motif T1.4-1 のデフォルトは従来型の DECwindows デスクトップ

DECwindows Motif 製品の PCSI インストールでは，New Desktop がデフォルト・デスクトップとして設定されると示されますが，DECwindows Motif Version T1.4-1 では，デフォルト・デスクトップは従来型の DECwindows デスクトップです。

従来型の DECwindows デスクトップから New Desktop に変更するには，以下に示すようにファイル SYSSMANAGER:DECW\$PRIVATE_APPS_SETUP.COM を編集して，false を true に変更した後，DECwindows を再起動してください。

```
$ decw$startup_new_desktop == "false" (従来型のデスクトップの場合)
$ decw$startup_new_desktop == "true" (New Desktop の場合)
$ @sys$manager:decw$startup restart
```

SYSSMANAGER:DECW\$PRIVATE_APPS_SETUP.COM が存在しない場合は，次のようにテンプレート・ファイルから作成します。

```
$ COPY SYSSMANAGER:DECW$PRIVATE_APPS_SETUP.TEMPLATE -
_$ SYS$COMMON:[SYSMGR]DECW$PRIVATE_APPS_SETUP.COM
```

DECW\$PRIVATE_APPS_SETUP.COM を変更し，DECwindows を再起動した後で，デスクトップを次回起動すると，デスクトップとして New Desktop が表示されます。

2.4.3 New Desktop の Password フィールドではバックスペースおよび Ctrl/U 編集機能を使用できない

DECwindows Motif T1.4-1 の New Desktop へのログインには，制限事項があります。ログイン・ダイアログのパスワード・フィールドに文字を入力する場合，入力ミスしないように注意する必要があります。DECwindows Motif T1.4-1 では，パスワード・フィールドでバックスペースを使用することができません。また，パスワード・フィールドでは Ctrl/U 編集機能も動作しません。以前のバージョンの DECwindows では，Ctrl/U キーを押すと，入力したすべてのパスワード文字が削除されていたので，パスワードの入力を最初からやり直すことができました。

New Desktop のパスワード・フィールドでのバックスペースおよび Ctrl/U 機能については、次のリリースの DECwindows で修復される予定です。

2.4.4 グラフィックス・カードのサポート

OpenVMS I64 システムで現在サポートされているグラフィックス・カードは、内蔵の Radeon 7000 PCI カードだけです。

2.4.5 Radeon 7000 ではハードウェア・アクセラレーションがサポートされない

DECwindows Motif T1.4-1 for OpenVMS では、Radeon 7000 PCI カードでハードウェア・アクセラレーション (ダイレクト・メモリ・アクセス、DMA) および 3D グラフィックスはサポートされていません。

2.4.6 DECwindows サーバの再起動に関する問題

一部のシステムでは、タイミングの問題により、@SYSSMANAGER:DECW\$STARTUP RESTART コマンドを使用して DECwindows を再起動できません。この問題を回避するには、以下のいずれかの方法で DECwindows を再起動してください。

- DECW\$SERVER_0 プロセスを停止した後、@SYSSMANAGER:DECW\$STARTUP を使用して DECwindows を起動します。DECW\$SERVER_0 プロセスを停止すると、DECwindows セッションが終了するため、これらのコマンドは、シリアル・コンソールまたは別のシステムから SET HOST コマンドまたは telnet を使用して実行する必要があります。
- コマンド・プロシージャ SYSSMANAGER:DECW\$STARTSERVER.COM を編集します。以下の行を検索してください。

```
$ write x "$STOP/ID=' ' pid' ' "
```

その後、以下の行を挿入します。

```
$ write x "$WAIT 0:0:5"
```

この方法を使用すると、@SYSSMANAGER:DECW\$STARTUP RESTART コマンドが正常に動作するようになります。

2.4.7 DECwindows の起動時に表示されるマウスまたはキーボードに関するメッセージ

OpenVMS I64 システムを DECwindows サーバとして構成するには、USB マウス、適切な USB キーボード、ディスプレイ・モニタを接続しておく必要があります。I64 システムを DECwindows クライアントとしてのみ実行しているときに (サーバ構成なし)、DECwindows の起動時に Waiting for mouse... または Waiting for

keyboard...というメッセージと 15 秒のカウントダウンが表示されることがあります。これらのメッセージは無視してかまいません。USB マウスと適切な USB キーボードがある場合は、これらを接続することで、DECwindows の起動時にカウントダウン・メッセージが表示されるのを防止できます。

